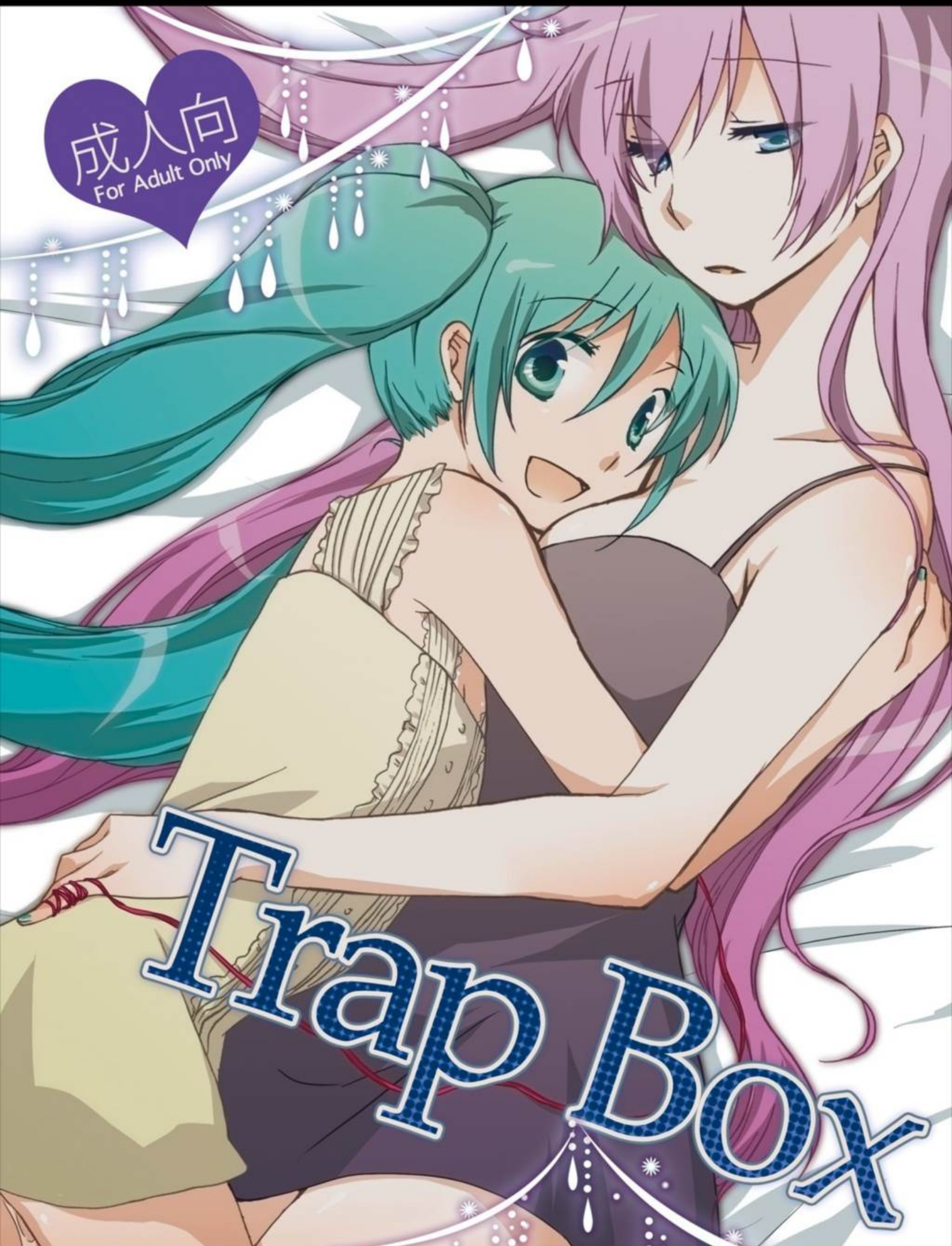


成人向
For Adult Only

Trap Box





* ご注意 *

これはガチ百合ルカ→ノンケミクな女子同士の恋愛の本です。
百合表現・清純びっち・成人向要素を含みますので
苦手な方はご注意ください。
なお18歳未満の方(高校生不可)の閲覧・購読はご遠慮ください。
すべてご理解いただけましたら本文へどうぞ。



はじめましてこんにちは。せきはら海奈と申します。
せきと名乗ってたりもします。

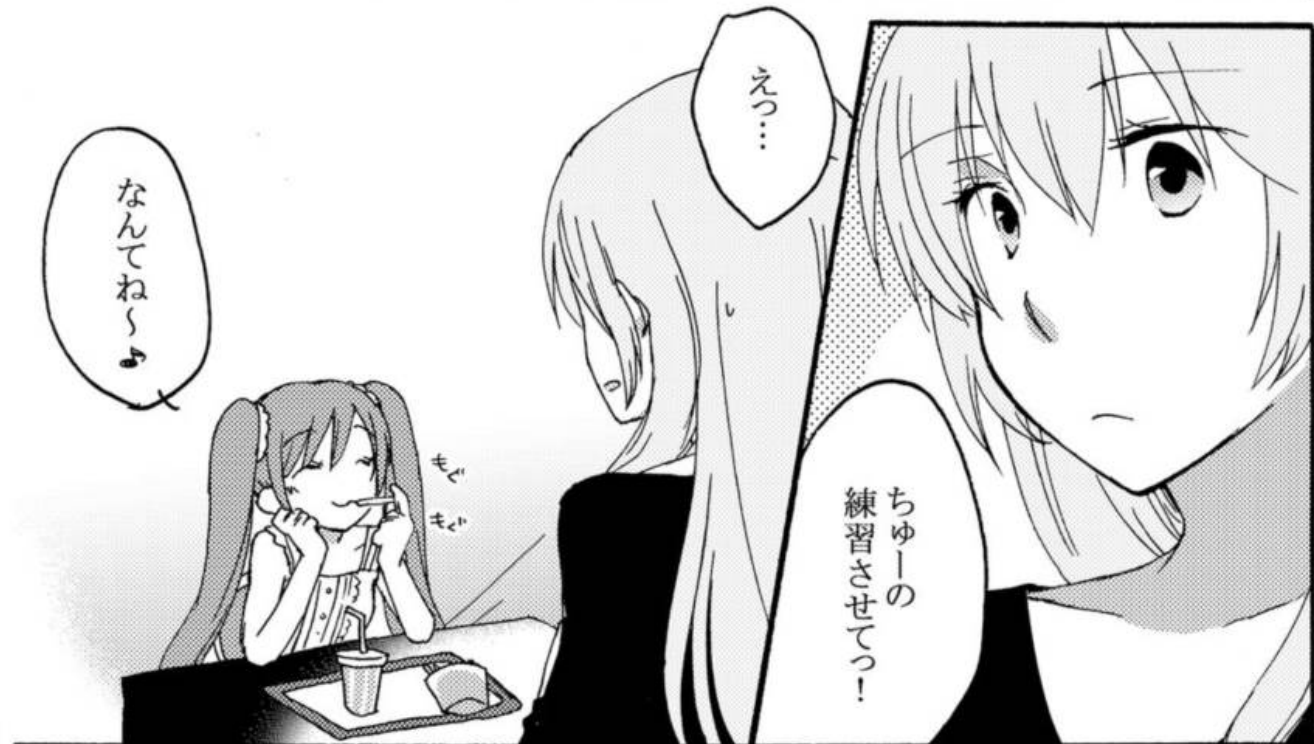
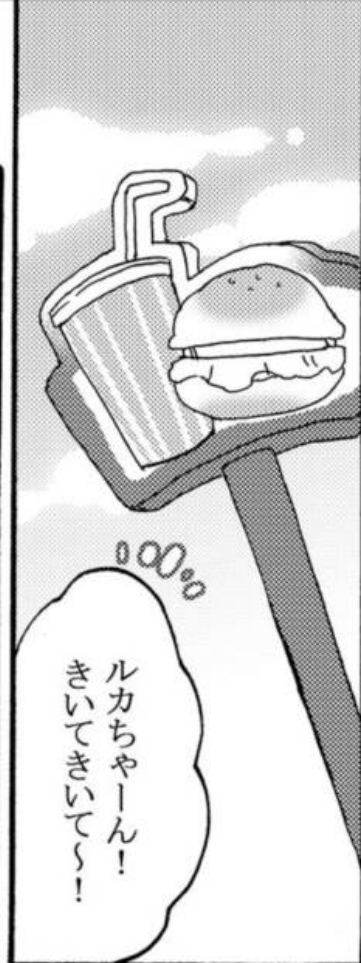
前回のリンミクに続き今回はルカミクです。
ラブイチャというよりもルカーミクな感じの現代パロ設定なので
苦手な方はお気をつけ下さいませ…!

少しでも楽しんでいただけたら幸いです。
それではまたあとがきで。

【 ルカちゃん & ミク 】

- *二人は幼馴染
- *二人共両親は共働きで
小さい頃からルカちゃんが
ミクの面倒を見ていた。







頑張ってねーん、

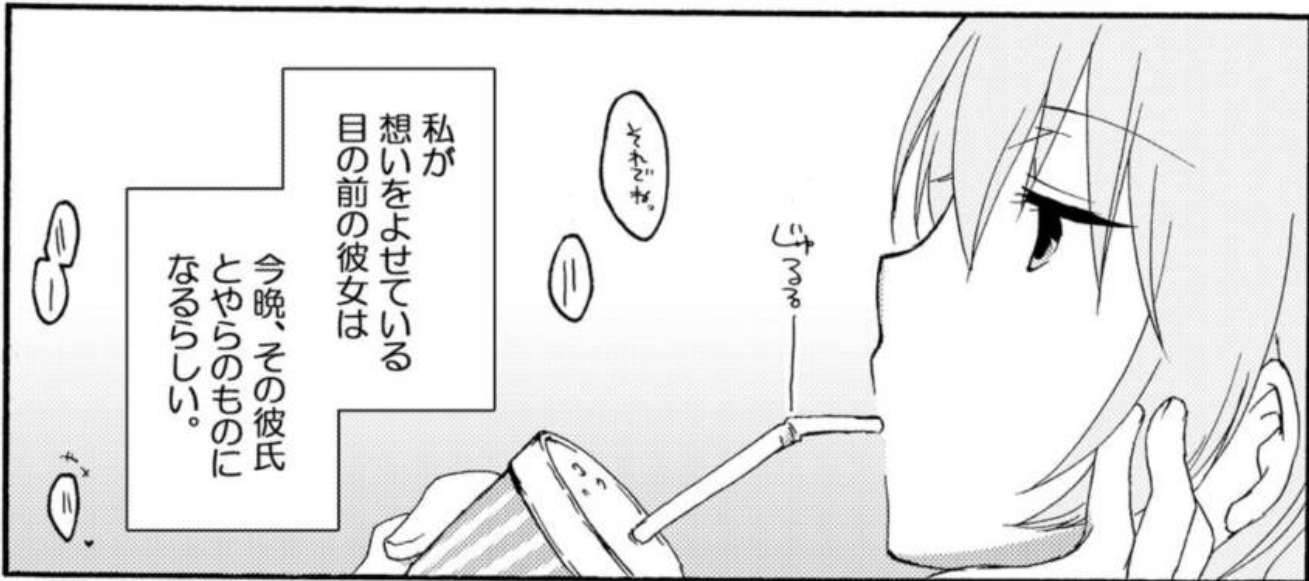
こういう時だけ
いつもお家に一人
だといよね

友達はお泊りしていいか
お父さんにきいたら
すつごく怒られ
ちやっただって！



だって

はじめてのキスは
今まで大事にとつて
おいたんだもん



私が
想いをよせている
目の前の彼女は

今晚、その彼氏
とやらのもの
なるらしい。

とまごや

time

期待に胸をふくらませ
彼女とほろほろはらに
私の心は重たかった





想いを秘めたまま
友人として
側にいる限り

いつかはこんな日が
来るとは思っていた

多分明日になれば
今夜あったことを色々と
報告してくれるんだろう



——いつもと
変わらぬ
笑顔で。



——でも、

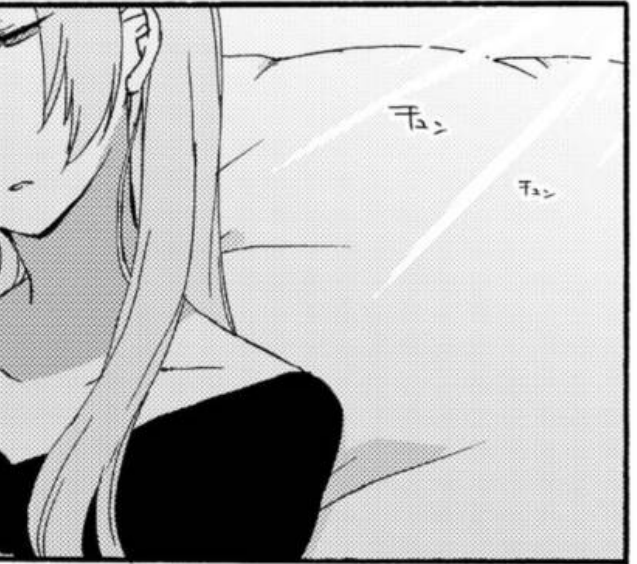


実は結構覚悟は
していたつもりだった

こんな日が来るのを
予想して何度も
シュミレートもしてみた。

実際は
私が想像していたよりも
遥かに

——胸が、そして心が……痛かった。





— その

満面の笑みで
昨日は上手くいったんだと
すぐわかった



…ごめん
待った？



歩きながら
昨日あったことを
恥ずかしそうに、



でもとても嬉しそうに
話してくれた。



ううん、
大丈夫だよ
私も今来たところ！

それより
ルカちゃん
あのね…





それから度々
報告を受け、二人は
順調に付き合っ
ているようだった

〇〇

きここ!
きここ!

ルカちゃん!



それから
数カ月後の
あの日までは……

——え?
浮気……??



私は彼女の
ただの幼馴染であり、
この距離が縮むことは
無くて

彼女が幸せなら
それでいいと思ってた。



あ、あのね今日
家に行ったら…っ

知らない
女の人…が
いつ…て

わた…しっ
わけわかんなくっ
なっちゃって…

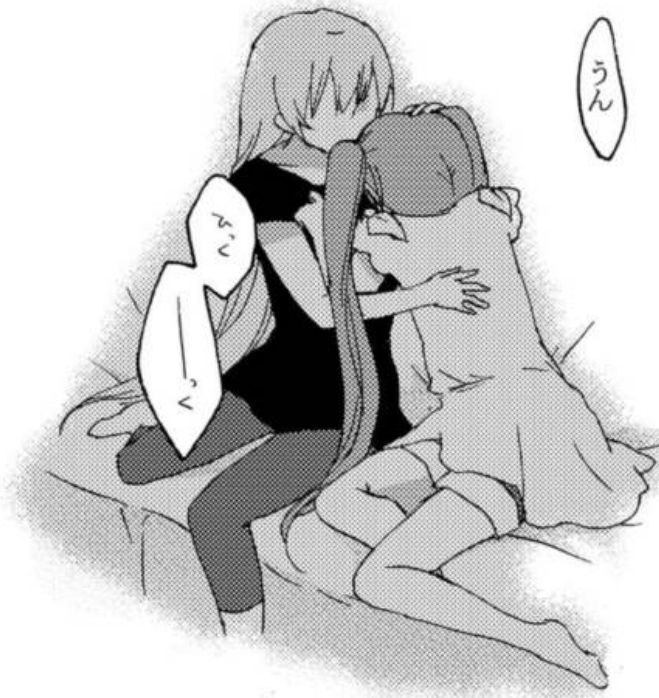


う…んっ



ルカちゃん…

う…！



うん

その場ですぐ別れも
告げられたらしい。

どうやら彼氏には
別の女がいた…

というよりも
ミク自身が
遊び相手だったようで

私がどう足掻いても
手にすることの
出来なかった彼女を



余計なことまで
口にして
しまいました

ただただ、
彼女をなくさめていた



弄び、そしてあっさり
手放した男を

当然許すことなど
出来る訳もなく
煮えるような気持ちで
いっぱいだったのだが



——落ち着いた？



オレがと...

...

ミカ...ヤ...

う...ん

なあに？



あ...えとっ

ルカちゃんに
彼氏が出来ちゃったら



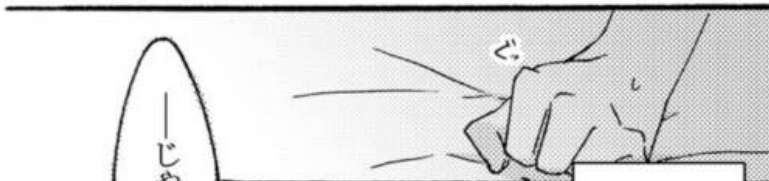
こうやって
なくさめてもらったり
出来なくなっちゃうんだ
って思ったら

さみしく
なっちゃった



そうやって貴方は
あつという間に
私の心を乱して、

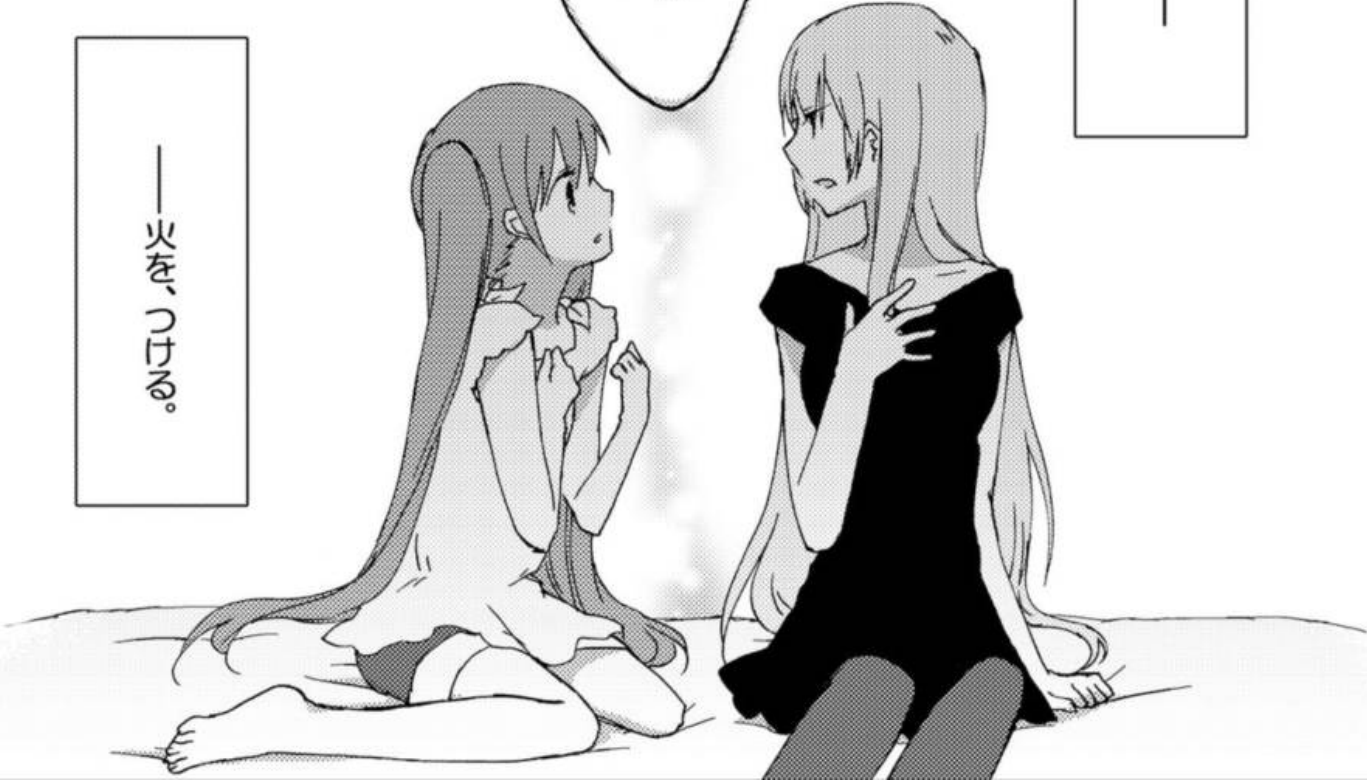
早くルカちゃん
みたいに
優しくしてくれる
彼氏見つけないとね！



枷を外し、――

――じゃあ
私を恋人に
すればいい

――火をつける。







ル、ルカちゃ...

——そのまま
目を、閉じて。

こういう状況で
断れない性格を

知ってて、私は彼女に
判断をゆだねた。



...嫌だった？

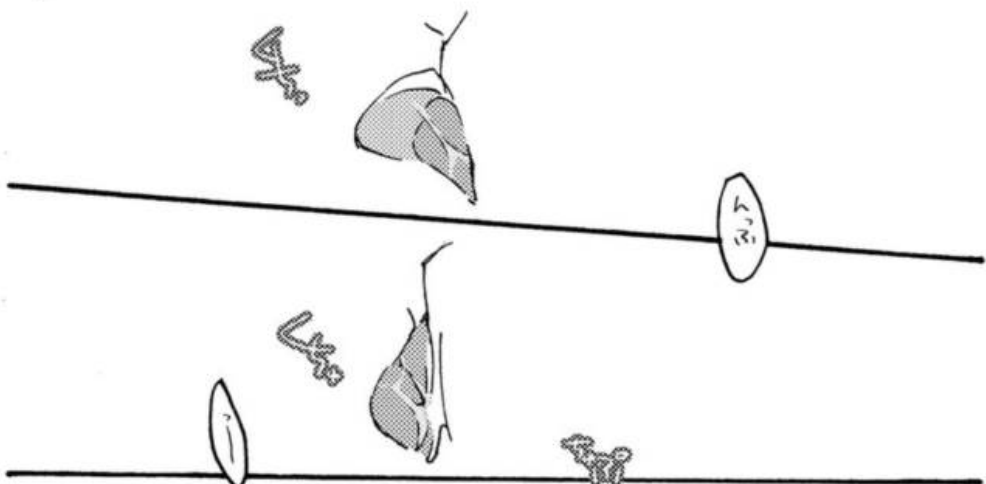
う...うーん
嫌じゃ...ない...
けど...

——じゃあ

口あけて



え…口？



もし
出来ないって言ったたら…
どうするの？



平気？
出来る？

は…ちー

気持ち悪いと
思うでしょう
から

貴方とは
距離を置くわ

えっ

距離を置くと
寂しがる事も
知っていた

私は
——そこに
つけこんだ

そ、そんなこと
思っていないよ

卑怯だと罵られても
構わなかった

私、できるよ
多分……!

だから……
遠くにいつちや
やだよ

どんな手を使っても
彼女が欲しくて
たまらなくなっていたから。

……本当ね?

う、うん。



はじめてふれた
その体は
少し冷たくて
震えていた



キン...



無理もないと思う。
今まで私の事は

そういう対象として
見ていなかったの
だから



ん...



自分さえ我慢していれば
丸く収まると
思っているかもしれない



—それでも、
もっと彼女の
悦ぶ顔を

見たいと思った



だめだよ
きたないよ…

え？ええ…



…彼は
してくれなかったの？



もしかして…
そこ…なめるの？



ル、ルカちゃん!?

ううん、
してないよ

?

きとん



私は……
したけど……

しないといれる時
痛かったし……

まったくひどい男に
つかまったものだ。

——いや今回に
限っては都合かも
しれない



——じゃあ……

やめる？

う、ううん

そっ……



ここだけは
はじめてなのだから
感謝し……





ミク……っ



あ……

あ……

——いけない。彼女への
気持ちを自覚してからは
□にしないようにしていたのに。



あ……

呼ぶ度に好きになるようにで
怖かったから……

ん

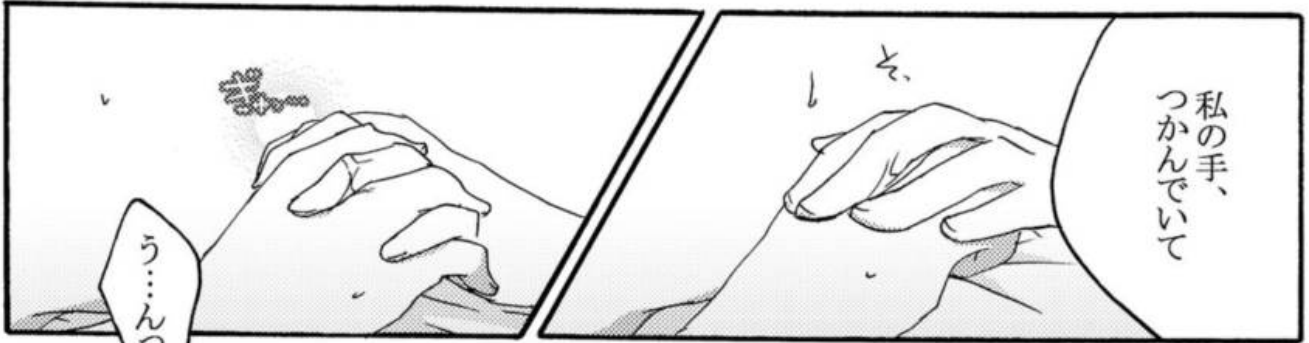


大丈夫
怖くはないわ

元彼氏とやらは
そこまでとっておいて
くれていたらしい

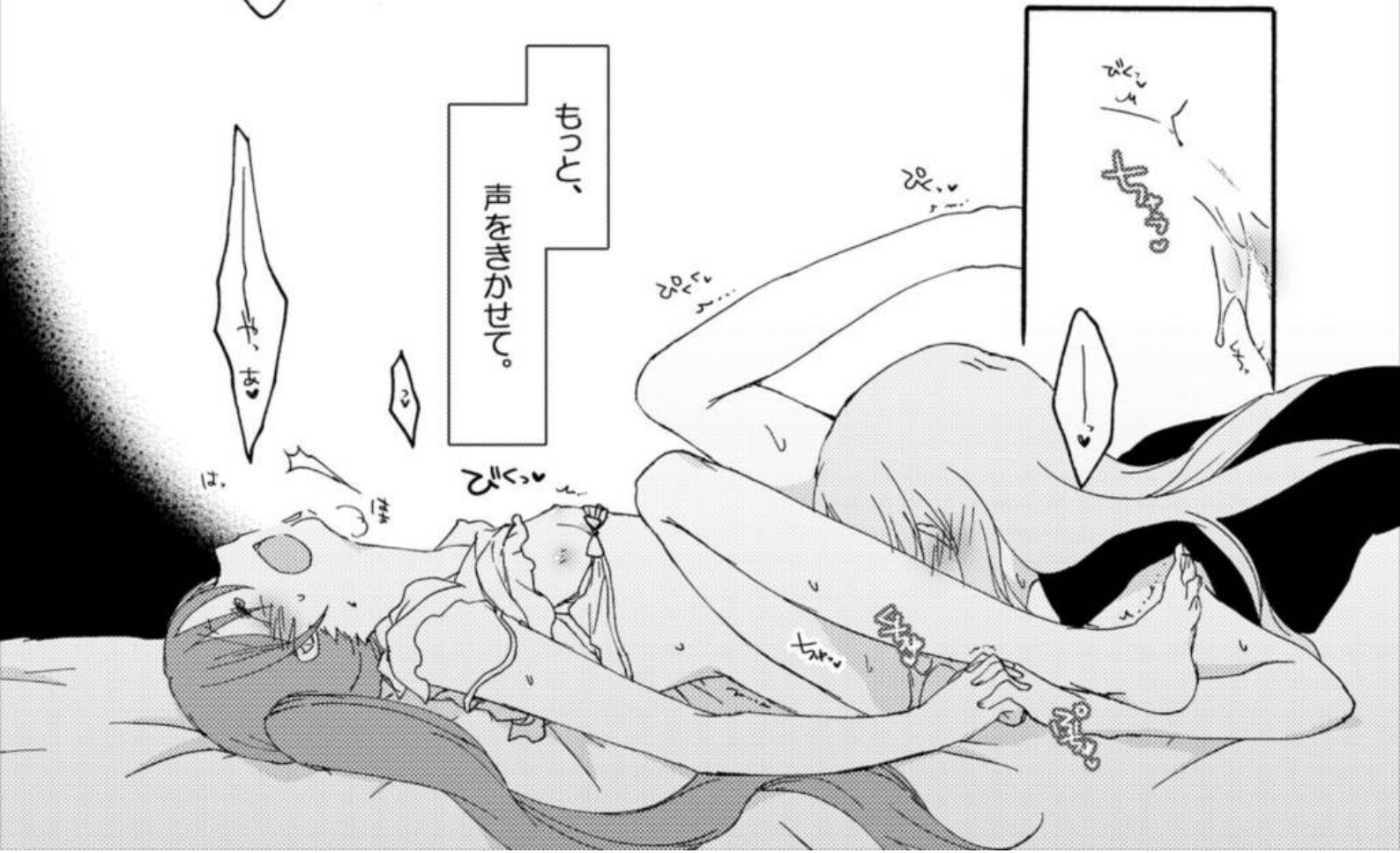
どうやらこれも
はじめてだった
らう

う...んっ



私の手、
つかんでいて

う...んっ



もっ...
声をきかせて。

あ...
七...

あ...
七...

あ...
七...

あ...
七...



——彼女の

達した姿が
あまりにも愛しくて



このまま
帰したくなくなって
しまった





だって…
その反対だもん…



気持ち…悪く
なかった？

ううん、そんな
こと…ない



は、
ル、ルカ…
ちゃん



それは…
自惚れても
いいのだろうか

あ…
あと
さっきの…

反対…



う…ん



そのまま
眠っても大丈夫よ



あたま…
真っ白になってね…



—おやすみなさい

このまま
夜が明けなければいい、と

彼女の寝顔を見つめながら
強く、強く、願った——

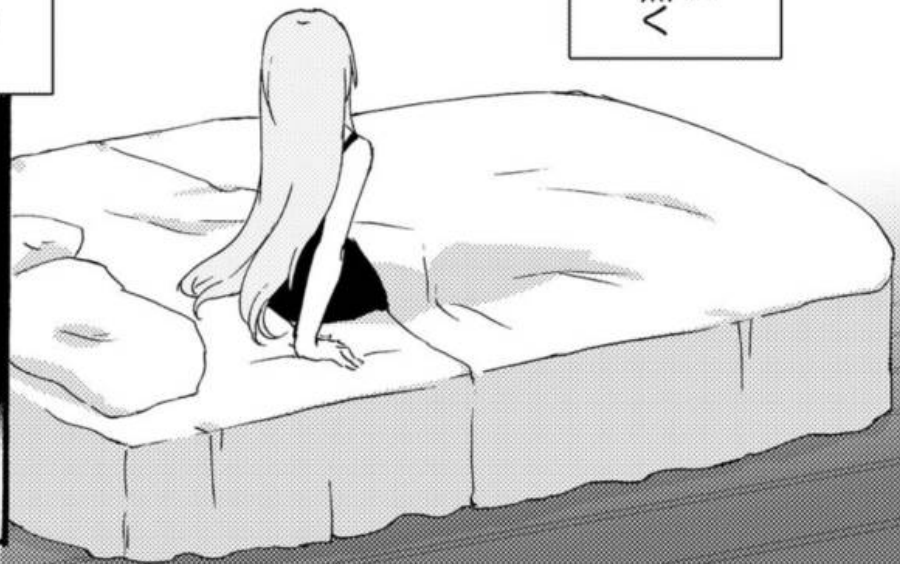


翌日、

目覚めるとそこに
彼女の姿は既に無く

一枚のメモだけが
残されていた

いちごちゃん
三白めで来て
おかけどうも
三白🐰



昨晚は
何も無かったかの
ように





「いや、何も無かったことにしてほしいのだから」

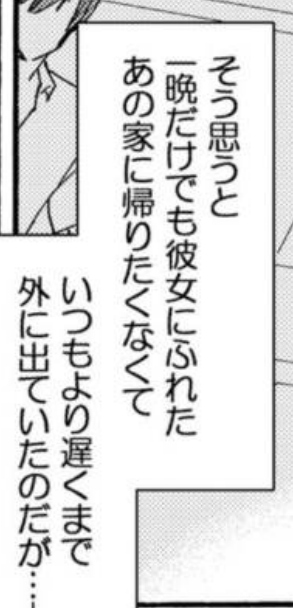
どう頑張っても結局彼女にとって私は「幼馴染のお姉さん」だった、という事だ



.....



覚悟はしていたけれどもしかしたら...もう...会えないかもしれない



そう思うよ
一晩だけでも彼女にふれたあの家に帰りたくなくて

いつもより遅くまで外に出ていたのだが...



あ、ルカちゃん
おかえりなさい

た、た、

どうしたの!?
来るなら連絡
くれればよかつた
のに...!



ごめんね、
でも私が勝手に
待ってた
だけだから...

待つのは
はれさじ

あ、一緒にご飯
食べようと思って
色々買って
きたんだよ



——とりあえず
入って。

すぐ
開けるから...



ギョ...

ど、どうしたの？

ルカちゃん…

私、家にひとりだと
さみしくて…

彼女が発した
言葉に驚き、

— 今度も
泊まってもいい？
…いい？

この、状況で自我を
抑えるなんて私には
とても困難で…

貴方…昨日のこと
…覚えてる…
わよね？

—また…私、
多分同じこと
…すると思うわ

ルカちゃんと、一緒にいたい

うん
…いいの



他人から見れば
さぞ理解に苦しむ
状況だと思う



私は彼女に完全に
溺れており、

——また彼女は
「私」ではなく
この「行為」に
溺れているのだと思う。


いや、もしかしたら
ただ単に

空いてしまった
心の隙間を埋めたいだけ
なのかもしれない

——でも
そんなことはもう
どうでもよくなっちゃった




ルカちゃん……




ルカちゃん

すき

——今はただ、



彼女に
求められること
だけが



幸せなのだから……



ふわふわで
遠くへ行っちゃい
そうでちょっと
いぢわて

でも、
つないだ手が
あったかくて

あたまの中が
真っ白になったの



あ…ルカちゃんの
胸の上に
のちやった

…ルカちゃん
また大きく
なっただんじや
ないかなあ

ん…

ん…

ん…



お、起こし
ちやった!?

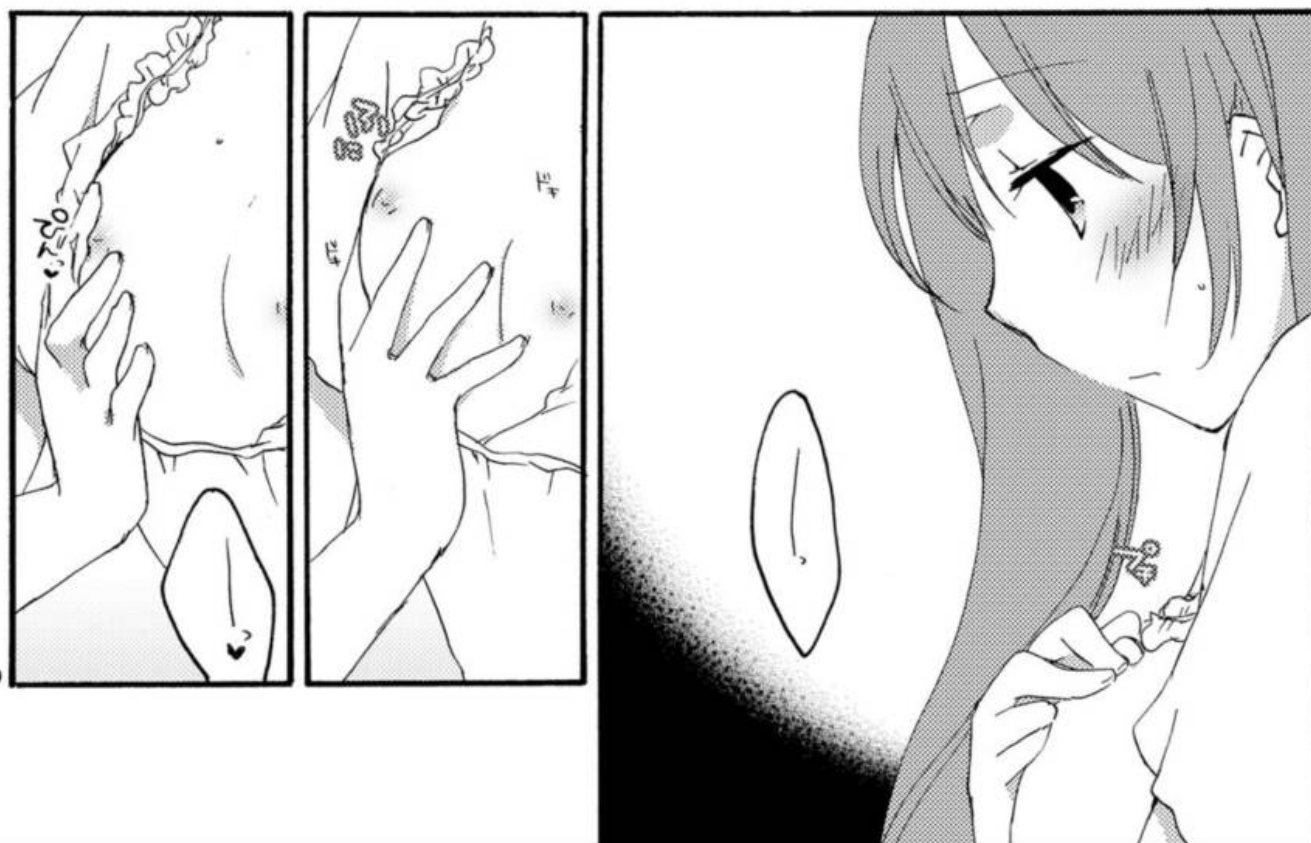
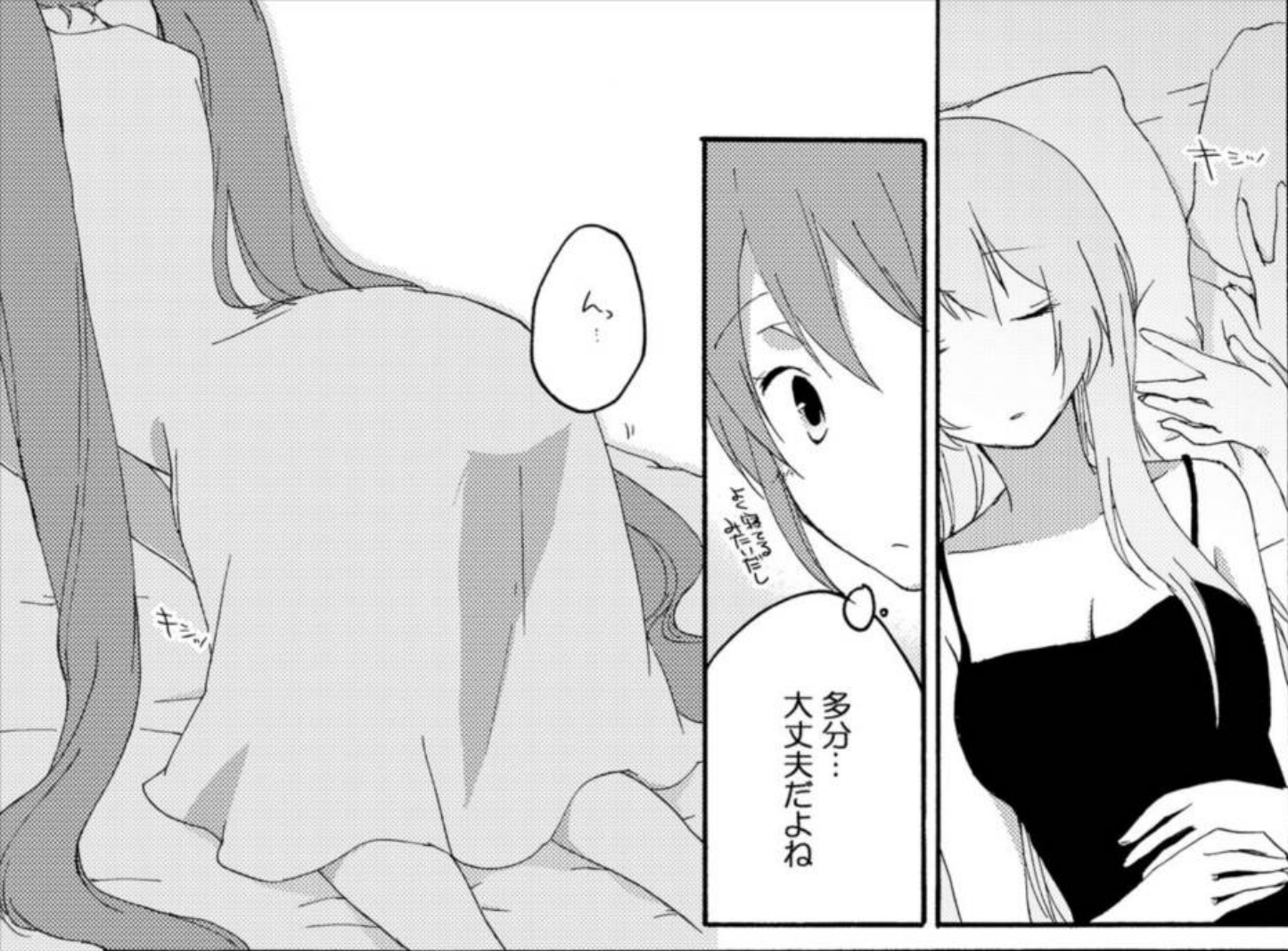
うーん…

ははっ



何度か
お泊りして
思ったけど

ルカちゃんて
一回寝るとなかなか
起きないよね…





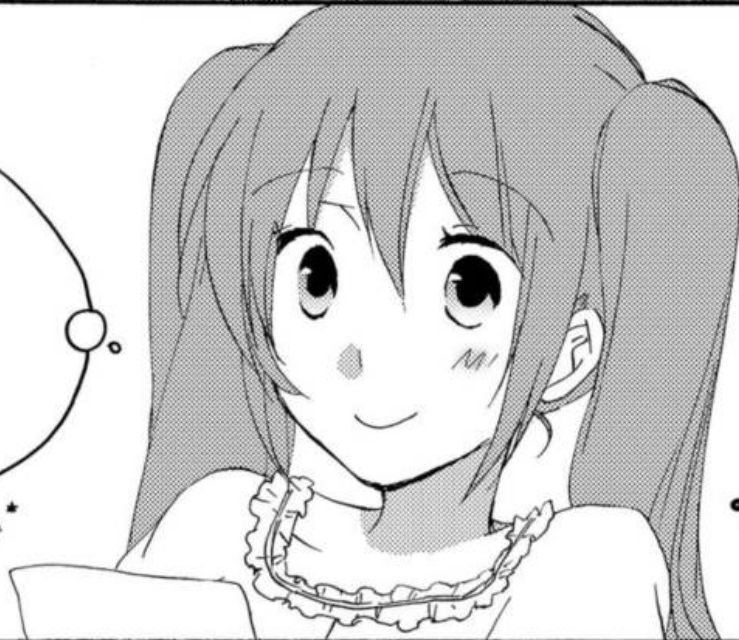




わっ私
何してるんだろっ
か、帰んなきゃ!

あ、そっだ!

よし、
できた!



恥ずかしくて
急いで出て
きちゃったけど

手紙、そっけなく
なっちゃって
ないかな!...

絵もまだ
大丈夫だよ...

さっきの、
ルカちゃん気づいて
ませんよーにっ!



あとがきでございます。

キャッキュウフも好きですがわりとこういうのも好きだったりします。
ちょっと新しい方向にチャレンジしてみました…！
好きか嫌いとかただけでもいいので…その感想とか…もらえたらその凄く…嬉しいです////
恋愛における女の子のずるいところみたいなのが
描けてたらいいよね、珍歩たん！

にしてもルカが不憫で本当にすみません…！
今回もいつものように主に珍歩さんがお話を練り練りしたのですが
ずっと二人で「うわわああああんルカちゃあああん(号泣)」と言っていました。
いや…泣いていたのは私だけだったような気がします。
さらに後半の漫画を追加した事により
ルカちゃんはフラグに気づけない残念な子になっちゃいました／(^o^)\きゃー!ルカサーン!!

一応今まで出した本には皆勤賞なルカですがどうも不憫になりがちです。
嫌いとかそんなことは絶対ないのよ!大好きなのよ!!

ここまでお付き合いいただきどうもありがとうございました!
それではまたどこかで^^

2010.10 せきはら海奈



「Trap Box」

2010.10.03 初版
2011.07.17 第五版

にらたま/せきはら 海奈 (& 珍歩)

印刷: 丸正インキ有限会社 様

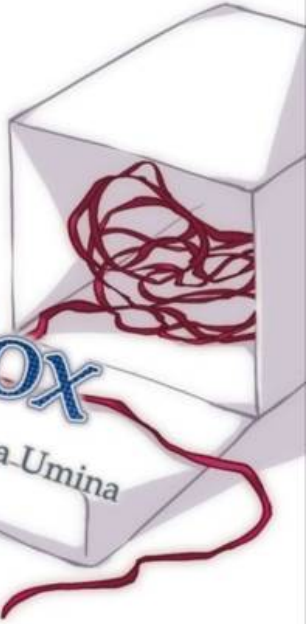
※18歳未満の方の閲覧/ネットオークション/無断転載、厳禁。

スペシャルサンクス!: すやまさま
いつも大変お世話になってます!! ありがとうございますー!♥

インフォメみたいなもの
「にらたま」ではVOCALOID、プリキュア、ヘタリアなどにて男女カブ・百合などを中心にイラストや同人誌を描いています。サイトにて情報更新しておりますのでよろしければ覗いてみてくださいませ。

URL: <http://haruka.saiin.net/~niratama/>
E-mail: u_sekihara@hotmail.co.jp
pixiv: ID=151361





Trap Box

2010.10/niratama/Sekihara-Umina
For Adult Only!